



東広島市の環境

みんなで楽しむ

活動事例集



はじめに

環境を守りはぐくむ活動をまとめました

環境を守りはぐくむ活動ときくと、なにが思い浮かぶでしょうか。

東広島市では、市民や団体、事業者などそれぞれの立場で行われているみなさんの活動の情報を集めています。

これは、みなさんの活動を広く紹介させていただくため、市民としての活動を中心にとりまとめたハンドブックです。















活動している方をみなさんの地域へ

このハンドブックを見たあとで、いろいろな感想をお持ちになると思います。もし興味をお持ちでしたら、活動をしている方のお話を聞くことができます。みなさんの地域の集まりなどで詳しい内容を聞いてみたい方は、巻末の環境対策課にご連絡ください。

このことが、みなさんと、活動している方の意見交換の機会になれば幸いです。

目次

環境を守る活動事例

	うどん作り	1
	志和堀のホタルまつり	3
	野の花ウォーキング	5
	花いっぱい運動	7
	乃美尾用水路の見学	9
	炭を使った河川浄化	11
	東広島リサイクルショップ	13
	保光川（やすみつがわ）ハウマッチ	15
	山のグラウンドワーク	17
	「もみ殻くん炭」の活用	19
	自転車キャラバン隊行動デー	21
	緑のカーテン講習会	23
	環境教育「ため池とのつながり」	25
	シバザクラ育苗・植栽講習会	27
	(参考) 環境基本計画について	29



うどん作り

人との関わりが深い
自然環境の保全



うどん作り

内容

自分たちが小麦作りを手伝って収穫した小麦粉を使い、うどんを打つ体験をして、みんなで食べました。麦わらからはホテルかごを作りました。

ポイント!

農家の協力が得られること、料理や麦細工の指導をしてくださる方がいることが大切です。

展開

学区内に農家があり、協力と指導が得られれば、どこでも取り組むことができます。

■ 「わになれ黄金小麦」をスローガンに、農業体験をまじえた環境学習を進めています。

■ 小学生が麦踏みや麦刈りを手伝い、収穫した小麦粉でうどんを作る体験をすることで、地産地消の大切さを学んでいます。また、収穫したあとの麦わらを編んで、蛭かごを作っています。

■ 毎年、百数十名の児童や先生が参加しています。今後は、これまでの活動を充実させていきます。



麦刈りをする小学生



蛭かご作り

🎤 子供たちの声

麦の持ち方や刈り方を教わって、上手に刈ることができた。

うどんの生地を踏むとやわらかくなるのが楽しかった。

地域でとれた麦のうどんはおいしかった。

👤 活動者の紹介

エコINNくろせでは、脱温暖化のまちづくりを目指して、地産地消やエコ農業など、様々なテーマで多彩な活動を展開しています。

🚫 キーワード

地産地消 地元で育てた野菜などの食べ物を、遠くへ移動させずにその地元で消費すること。運ぶエネルギーを省くことにもつながります。



志和堀のホタルまつり

自然とのふれあいの推進



志和堀のホタルまつり

内容

ホタルの季節に地域で行う催しものです。園児、児童、生徒による音楽などを楽しんだあと、ホタルを見ながら散策します。

ポイント!

まつりが地域のにぎわいとして定着し、ホタルを守る通年の活動につながっています。

展開

ホタルを通じて広く水辺環境に関心を広げることできます。ホタルがみられる地域では同じような取り組みが可能です。

■ 「みんなで守ろう ふるさとの川」
をテーマに、毎年6月上旬に志和堀
小学校で開催しています。

■ 夕方から保育所園児、小学校児童、
中学校生徒による歌や演奏を聴いた
あとで、ホタルを見ながらあじさい
が植えられた道を散策します。

■ プロジェクトチームがホタルを養
殖し、まつりの前はホタルのパトロ
ールを行います。

■ 志和堀小学校の全校児童が、自分
たちにもできる活動として川の清掃
をしています。



組み立てた巨大ホタル



ホタルの乱舞

参加者の声

ほのぼのとしていて、年々来る人が
増えています。子供の歌が上手で、
吹奏楽が楽しかった。

活動者の紹介

志和堀ホタルまつり実行委員会は、ホタルのすむ清らかな環境づくりや、豊かな心と命を大切にする児童の健全育成、相互信頼と協力のある地域づくりを目指して、昭和62年に始まり、回を重ねるたびに盛り上がりを見せるホタルまつりを運営しています。

キーワード

ホタル ホタルというと川のほとりにすむゲンジボタルやヘイケボタルが有名ですが、市内にはこのほかにも森にすむヒメボタルがいます。



野の花ウォーキング

生物多様性の保全



絶滅が心配されるカザグルマ

内容

地域で大切な山野草のようすを記録しながら、定期的にウォーキングを行っています。

ポイント!

健康づくりに役立つウォーキングと地域の自然資源を守る活動が結びついているところが特徴です。

展開

自分たちの住んでいるところで、地域の特徴的な植物や絶滅が危惧される植物を探すことから始めてみましょう。

■ 「野の花を後世に」を合言葉に、絶滅が危惧されるカザグルマなどの山野草の自生地を巡りながら、写真やメモで記録する保護活動を続けています。

■ 会員の所有地に自生するカザグルマをさし芽で増やして地域住民に配ったり、さし芽の方法を学べる実習会を開催しています。

■ 野の花ウォーキングは年に4～5回行われ地域住民が参加しています。

■ 小学生に、かつては群生していたカザグルマが環境の変化や盗掘で減少していることを伝え、苗の植え付け方を教えています。



カザグルマのさし芽



ササユリの種まき



参加者の声

かつては近所に群生していました。
いただいたカザグルマは大切に育てたい。



活動者の紹介

住民自治組織ふれあいの里戸野は平成14年に発足し、百数十世帯が加入しています。



キーワード

カザグルマ 広島県が「準絶滅危惧種」に指定しているつる性の多年草です。5月から6月にかけて白や淡い紫色の花が咲き、その花が風車のように見えるのでこの名が付いています。広島県内では吉備高原面を中心に分布していますが、いくつかの生育地では消滅したとされています。



花いっぱい運動

市街地の緑の保全と
整備・創出



皆で助け合って植え込み作業

内容

西条市街地の住民が各自でプランターに草花を育て、花と緑のまちづくりを進めています。

ポイント!

個々の緑は小さくても、住民の連携で花と緑がつながっています。みんなで取り組むことで、人のつながりが生まれます。

展開

緑の少ない市街地で効果の大きい取り組みです。

西条市街地の住民が集まり、講師から季節の花の植え方やその花に合った水のやり方などの指導を受けて、数多くのプランターに皆で助け合って植え込み作業を行っています。

暑さにも、寒さにも負けず美しく花が咲き、道行く人の心をいやしてくれることを願い、希望の家庭にプランターを運びます。

年2回程度、中央生涯学習センターの玄関先で数十名が苗を植え付ける姿は、人々の心に感じられるものがあると思います。

花いっぱい運動に多くの人に参加することは、お互いが育てる花をきっかけに声をかけ合うようになり、地域内のコミュニケーションづくりに一役を買っています。



講師のおはなし



手前からベコニア、ペチュニアの花々

参加者の声

街を歩くと、目線に変化が現れている。花の苗の植え方を学び、気軽に他の花も植えられるようになる。花に声をかけ、話しかけができるようになる。

活動者の紹介

西条市街地地区社会福祉協議会では、酒都にふさわしい美しい緑のまちづくりを目指して、このほかにも、多くの人を訪れる酒まつりの前や桜の花が咲く前に清掃活動を行っています。



乃美尾用水路の見学

歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用



乃美尾用水路を見学する児童

内容

乃美尾地区はため池が少なく、米作りのために水路を引いた歴史や水路の役割を小学生が学んでいます。

ポイント!

水路の見学から米作りには水が不可欠であるといった理料的なことと、地域の歴史といった社会的なことがうまくつながっています。

展開

水路にどんな生き物がすんでいて、水路をどのように移動・利用しているかを調べると、水路のちがった役割がみえてきます。

地域の農業用水路の生い立ちや役割、水の大切さを小学生に伝えています。

小学生が乃美尾用水路に沿って歩いたあと、井せきのゲートを開閉したときの水の流れが変わる様子を見学します。

用水路の由来や地域での米作り、また水がどこから流れてくるかなどを学んでいます。また、地域の発展につくした人々のことも学んでいます。

毎年、数十名の児童や先生が参加しています。

子供たちの声

水を広くいきわたらせ米が豊かに実るよう、昔の人々の苦労や努力があったことが分かった。水を流すためにはたくさんの工夫があることを知った。

活動者の紹介

エコINNくろせでは、田植えや稲刈りなど、1年間の農業体験を通じて、子供たちに地域の環境について考えてもらいながら、地域の文化を伝える活動をしています。

キーワード

農業用水路 私達の命を育む農業にとっても大切な水の通り道。生き物にとっても川と田んぼをつなぐ重要な場所になっています。



乃美尾用水路の取り入れ口



地域のことを学ぶ児童



炭を使った河川浄化

水辺環境の保全とふれあいの創出



水質浄化のために炭を沈めた川

内容

自分たちで伐採した木を使って焼いた炭を川に沈め、川の水質浄化に役立っています。

ポイント!

山の木から作られた炭の利用と環境浄化が繋がっています。

展開

炭のほかの用途を考え広げていく方向と、川の水がなぜ汚れて、汚れないようにするにはどうしたらよいか考える方向の両方に展開可能です。

■ 丸太で基礎や内柵を組み立てた上に、むしろをかけたり赤土を入れてたたきながら炭がまを作りました。

■ 「山を愛する会」が間伐した木を炭にしたものを、小学生が手伝い入野川の支流2か所に設置しています。

■ 炭を作るときにとれる木酢液は、もぐらよけや害虫よけに効果があります。

■ 毎年、フレコンバッグに4つほどの炭を作っています。川の水質検査も行っています。

■ 炭はこのほか、子供会のバーベキューなどに使われます。



手作りの炭がま



川の浄化について学ぶ子供たち



子供たちの声

地域の方の活動を知り、地域の環境を守っていきたく感じた。

地域の方といっしょに作業できてうれしかった。



活動者の紹介

入野の環境を考える委員会は、川にホタルが群舞するようになれば子供たちの郷土愛が育まれ、入野を離れてもいつの日か戻ってくるとの願いから平成20年にスタートしました。



キーワード

炭の効果 炭には細かな穴がたくさんあり、そこへ汚れの原因物質が吸着して水がきれいになる仕組みです。



東広島リサイクルショップ

廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進



東広島リサイクルショップ

内容

家庭で不要となったものを受け入れて格安で販売するお店です。NPO 法人が運営しています。

ポイント!

販売という形でリユース（再使用）を実践しています。

展開

市内のどの地区でも取り組みが可能です。独立して運営することも、ノウハウの提供を受けることも可能です。

■ ごみの減量化を目的として、家庭で不要となったために持ち込まれたものや、連絡を受けて収集したものを、再使用品として格安で販売しています。

■ 再使用品の値段はその場で決めます。店の備品もほとんどが再使用品です。

■ 東広島リサイクルショップは、NPO法人志和堀DNA、NETが運営しています。

■ 平成10年に公衆衛生推進協議会が始めた活動を引き継いだもので、クチコミで知った人が訪れています。

利用者の声

リフォームや引越しの際に不要品を引き取ってもらえるので助かります。新しく家具を揃えるときに安く手に入ります。

活動者の紹介

NPO法人志和堀DNA、NETは、千代乃春酒造壱号蔵の保存、活用を図りながら、これを中心に山里の豊かな自然、美しい田園風景、特色ある景観などを利活用した地域づくりを進めるため、平成23年に設立されました。

キーワード

再使用 「いらぬモノは他の人や他の用途で使ってもらう」ごみを減らす考え方の一つで、このほかにも「ごみはできるだけ発生させない（発生抑制）」、「資源として使えるモノは使う（再資源化）」があります。



リサイクルショップの家具



棚に並ぶ雑貨



保光川 (やすみつがわ) ハウマッチ

不法投棄防止対策の推進



川の生き物調査

内容

児童、保護者が一緒に地域の川の生き物と水のきれいさの関係を調べて、清掃を行っています。

ポイント!

ごみと生き物の両面から川をとらえています。

展開

東広島市には身近で多様な水辺環境があり、どこでも取り組みが可能です。

川の清掃を通じてごみの分別やエコについて考えてもらいながら、川の生き物調査をしています。

児童や保護者が、生き物と水の大切さについて学んだあと、ごみ拾いや魚とりをします。

そのあと、食事をしながら「ハチドリのひとしずく」の紙芝居を見ます。

毎年、数十名の児童や保護者が参加しています。

参加者の声

魚とり、川遊びが面白かった。

ミニ講演会が良かった。



川のまわりのごみ拾い



ごみのお話（ミニ講演会）



話を聞く参加者

活動者の紹介

エコINNくろせでは、小学生が1年を通して田植えや稲刈り、用水路の見学や川の清掃をすることで、それぞれの体験が結び付いた環境学習を行っています。

キーワード

保光川でとれた生き物 これまでに、フナのなかま、ブラックバス、カエルのなかま、アメリカザリガニなどが見つかっています。



山のグラウンドワーク

温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進



山のグラウンドワーク

内容

市民の手で、西条の水源の山となっている龍王山・憩いの森の手入れを行っています。

ポイント!

酒造りにかせない水と水源の山がつながっている活動です。

展開

市内にはたくさんの荒れた里山があります。地域とのかかわりを考え、山の手入れに取り組むことができます。

西条の水源の山となっている龍王山・憩いの森を拠点に、下草刈りや除伐などの山の手入れ作業を行い、美しい山と水を守っています。



山の手入れをする参加者

手入れで出た除伐材はチップ化して堆肥にしたり、炭にして小川の浄化に役立てようと循環利用の実験的活動を行っています。

あわせて、整備したエリアの植生調査や木質ペレットづくり、まき割りなどを行っています。

平成12年に始まった山のグラウンドワークは年に5回程度行われ、毎回百名を超えるボランティアが参加しています。

参加者の声

自分ひとりでは体験できない作業が体験できました。普段、体を動かさないので、いい運動になりました。



ペレタイザーによる木質ペレット作り

活動者の紹介

西条・山と水の環境機構では、美しい故郷を次の世代へ手渡すことができるよう、このほかにも水のグラウンドワークや、別のグループによる森林保全活動の応援、山や水環境の保全に関する調査研究などを行っています。

キーワード

木質ペレット 丸太や樹皮などを細かく碎き、それを圧縮して棒状に成形したもの。ペレットストーブなどの燃料として用いられます。

グラウンドワーク 地域の環境整備等の実施に際し、従来の行政主導の計画策定・事業実施にかわり、住民が積極的に参加するとともに、企業が地域社会への貢献等の観点から参画し、住民・行政・企業の3者のパートナーシップによりグラウンド（生活の現場）に関するワーク（創造活動）を行うもの。

「もみ殻くん炭」の活用



もみ殻くん炭

内容

もみ殻くん炭ともみ酢液を利用し、無農薬栽培を進めています。

ポイント!

稲作の副産物をうまく利用することで、環境保全に役立っています。

展開

農家だけでなく、個人の庭や植木鉢にも使うことができます。

もみ殻を炭にして、それを田へ撒いて耕すことで土を改良する活動を広げています。これによって、空気中の二酸化炭素を土のなかに固定化することができます。

「もみ殻くん炭」を作るときにでる「もみ酢液」を薄めたものを稲に散布して、イモチ病や紋枯病を防除する無農薬栽培を進めています。



もみ殻くん炭の製造装置

参加者の声

有機農業を行うなかで、もみ殻のくん炭化がうまくいかなかったが、自動消火ができるようになり、くん炭化の効率がよくなった。



たくさん並ぶ製造装置

活動者の紹介

三谷信夫さんは、市販の「くん燃器」を見本にして手作りした「くん燃器」を使って「もみ殻くん炭」を作っています。0.6ヘクタールの田から回収したもみ殻で、約200リットルの袋に40袋のくん炭ができます。

キーワード

もみ殻くん炭 もみ殻を炭にしたもの。小さな孔がたくさんあり、土の中の菌がその孔にすみつくことで土壌改良につながります。

二酸化炭素の固定化 植物は大気中の二酸化炭素を取り込みます。植物を炭にして土の中に埋めることで大気中の二酸化炭素が減り、脱温暖化につながります。



自転車キャラバン隊行動デー

省エネルギー
の推進



自転車の利用を呼びかける自転車キャラバン隊

内容

のぼりやタスキをかけて自転車で移動しながら、地球温暖化防止のために自転車の利用を呼びかけています。大型商業施設でチラシも配布します。

ポイント!

市民が同じ目線で市民に訴えることで、共感を得ています。

展開

自転車に乗る楽しさや経済的なメリットを伝えることができれば、運動はより広がっていきます。

「地球温暖化防止呼びかけキャンペーン」の一環として、身近なところへは自転車で行くよう呼びかけています。

のぼりやタスキをかけ、3コースに分かれてサイクリングし、大型商業施設でもチラシを配布します。

毎年1回実施し、数十名の有志が参加しています。



参加者の声

成果がすぐに表れなくても、地道な活動から始めないと物事は進まないと思った。



キャラバン隊のメンバー

第7回 自転車キャラバン隊行動デー

開催日：平成24年10月27日(土)
 集合場所：黒瀬生涯学習センター
 集合時間：9時30分



開会式：9時45分
 出発：10時30分～帰着：11時20分
 閉会式：11時50分

コース1[檜原地区] 所要距離6.4Km
 黒瀬生涯学習センター⇒県道34号線を西へ⇒登瀬「霧島の手前」手前⇒荒丘・乃美尾線⇒谷本商店(セブンイレブン)⇒中黒瀬小入口⇒イワタニ(フロン)⇒生涯学習センター終点

軽食後、解散



コース2[市飯田地区] 所要距離4.2Km
 黒瀬生涯学習センター⇒黒瀬中央橋⇒ENOSGS⇒国道375号線沿い⇒明治橋⇒まずかわ⇒生涯学習センター終点

コース3[乃美尾地区] 所要距離7.0Km
 黒瀬生涯学習センター⇒黒瀬文吾⇒黒瀬交番⇒谷川七ツ又交差点右折⇒乃美尾後光神社左折⇒乃美尾ふれあい館(折り返し)⇒黒瀬川沿い⇒生涯学習センター終点

身近な所への移動は自転車を利用し、無駄なガソリンを使わない。
 地球温暖化防止を呼びかけながら、サイクリングをしましょう。



主催：エコINNくろせ

事務局：乃美尾ふれあい館 TEL.0823-82-0451

参加を呼びかけるちらし



活動者の紹介

エコINNくろせは、平成18年3月に設立された、東広島市で最初の地球温暖化対策地域協議会です。自分たちにできる身近な脱温暖化行動を地域ぐるみで推進し、環境にやさしいまちづくりを進めています。



キーワード

自転車のエコ貢献度 例えば週に2日、自転車に10分乗って2～3km先のスーパーへ買い物に行くとすると、軽自動車を使うときと比べて、年間に大人1人分の体重とほぼ同じくらい、約60kgの二酸化炭素の発生が抑えられます。



緑のカーテン講習会

内容

緑のカーテンの作り方を知る講習会です。

ポイント!

緑のカーテンを呼びかけるだけでなく、講習会を開くことでそ野を広げています。

展開

市街地から山間部、沿岸部までどこでも行うことができる取り組みです。

■ 緑のカーテンにチャレンジしたいけど作り方がわからない、作ってみたいけどうまく育たなかった、どんな植物が向いているのか？など、緑のカーテンに興味や関心のある方を対象に講習会を開催しています。



室内での講習

■ JA職員を講師に招いて憩いの森公園で行った講習会では、クチコミで数十組の参加がありました。



野外での実演

■ この講習会をより多くの人に知ってもらい、また講習を受けた人が緑のカーテンを作った後の感想を聞くことができれば、講習会のレベルアップにつながるのでは、と思います。



参加者の声

ただ植えて水をやるだけでなく、カーテンを広げるためのつるの切り方やネットへの結び方など、自分ではわからないところをていねいに教えてもらいました。



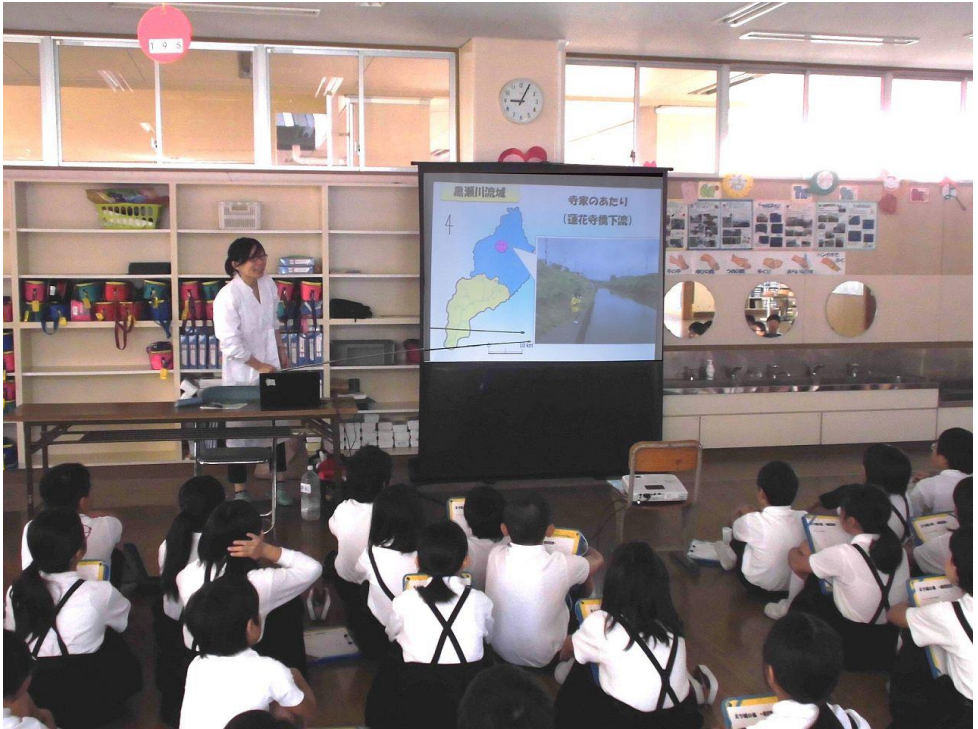
活動者の紹介

ひがしひろしま環境家族は、安心して暮らせる持続可能な地球を子供たちに残していきたいという思いから、平成19年に設立された地球温暖化対策地域協議会です。このほかにも親子を対象としたエコクッキングの普及やLOHASセミナー、学習会などを積極的に行っています。



キーワード

LOHAS（ロハス）人の健康と自然環境の保護を優先的に考えたライフスタイルのこと



授業をうける児童

内容

なぜため池があるのか、ため池にはどんな生き物がすんでいるのかを学ぶことで、私たちの暮らしと水の関係を考える小学生向けの環境教育プログラムです。

ポイント!

学校のそばにあるため池を題材にしており、身近なものが自分たちの暮らしを考えるきっかけとなっています。

展開

ため池や水路、川は、水を通したつながりをいろいろな角度から取り上げることができ、人と自然の関係を考える上で格好の材料です。

ため池の利用を考えたり、ため池の自然を観ることを通して、人と自然、自然と自然のつながりや、そのつながりがもたらす恵みを感じてもらいます。そして、自分たちの暮らし方を考えてもらいます。



野外での授業風景

小学生に、地球上で使える水の量や、水が汚れる原因、川をきれいにするために私たちにできることを説明します。

このあと、ため池の水や、竹炭を入れた生活雑排水などの汚れの程度を調べてもらい、ため池のなかの生き物を観察します。

毎年、八本松町の七つ池で、小学校の総合学習として行っています。



七つ池の鳥 ハシビロガモ



子供たちの声

地域の環境と身近にふれあうことで親しみを感じました。地域の方が守ってきた環境を、自分たちも大切に守っていきたいと思います。



活動者の紹介

「かっぱのおうち」は、川の環境問題に興味を持っている広島大学の学生が結成している団体です。おもに広島大学の近くを流れる黒瀬川を中心に活動しています。



シバザクラ育苗・植栽講習会

環境保全活動への参加促進と取り組みの支援



一面のシバザクラ

内容

田んぼの斜面に植えることを目的として、シバザクラの育苗・植栽講習会を開催しています。

ポイント!

シバザクラは、田んぼの斜面に植えることで草刈り作業の省力化がはかれるだけでなく、花も楽しむことができます。

展開

地区でまとまって取り組むことで、地域外の人との交流の輪も生まれます。

遠近、職業、地域などを問わず、シバザクラの育苗・植栽講習会を実施しています。来訪者はもちろんのこと、要望があれば各地域へ出向いて、育苗、植栽から維持管理までのすべてを指導しています。

農地の法面にシバザクラを植えることで景観が良くなるだけでなく、植栽時に防草シートを敷くので雑草が生えにくくなり、草刈り機に使用する燃料の節約や、草刈り作業の省力化が図れます。

雑草に付く害虫の発生が抑えられ、減農薬栽培につながります。

雨天時でも法面の土砂が用水路へ流れ込みにくくなります。

シバザクラが外来雑草の繁茂やイノシシの侵入を防ぐ効果についての研究も進めています。



シバザクラを植える様子



法面に植えられたシバザクラ

参加者の声

若い人はあまり農業に関心がなく、草刈り機は高齢になると扱いづらくなるが、シバザクラを植えることで畦の管理が楽になった。

活動者の紹介

乃美エコクラブ 豊栄町乃美地区は農業者の高齢化が進み、草刈り作業などの負担が問題になりました。乃美エコクラブでは、シバザクラによる畦の管理を進めた結果、花が満開になる時期に多くの見学者が訪れるようになりました。

キーワード

シバザクラ ハナシノブ科の多年草。北米原産で、4月から5月にかけて桜に似た花を咲かせます。寒暖や乾燥に強く、芝生の代わりに植えられます。

(参考) 環境基本計画について

東広島市では、市が抱える環境上の課題を解決し、すばらしい環境を守り、育み、後世に継承していくため、東広島市環境基本計画を定めています。

この計画では、目標とする姿として、

市民一人ひとりが ふるさとの環境をまもり・はぐくみ・つたえるまち

を掲げ、21世紀半ばに3つのまちの実現を目指して、市・市民・事業者が連携・協働しながら、個別の具体的な取り組みを自主的に進めていくこととしています。

豊かな自然と共生した
快適に暮らせるまち



身近な取り組みから
地球環境保全に貢献するまち



環境を守り・伝える心と
活動を育むまち



このハンドブックでご紹介した活動は、すべてこの計画の取り組みにある活動です。

それぞれの活動がどの取り組みにあるかは、それぞれのタイトルの右に記載しています。

(例)



うどん作り

人との関わりが深い
自然環境の保全

「豊かな自然と共生した快適に暮らせるまち」を目指す取り組み

人との関わりが深い自然環境の保全
自然とのふれあいの推進
生物多様性の保全
市街地の緑の保全と整備・創出
歴史・文化的資源と歴史的な町並みの保全・活用
潤いのある市街地景観の創出
健全な水質と水循環の確保
水辺環境の保全とふれあいの創出
きれいな空気や静かな環境等の保全

「身近な取り組みから地球環境保全に貢献するまち」を目指す取り組み

廃棄物の排出抑制と循環的利用の促進
不法投棄防止対策の推進
温室効果ガスの抑制に向けた総合的な取り組みの推進
新エネルギーの導入
省エネルギーの推進
低炭素社会形成に寄与する事業の促進・支援
地域を越えた連携と国際的な協力の推進

「環境を守り・伝える心と活動を育むまち」を目指す取り組み

学校・家庭・地域などでの環境教育・環境学習の推進
利用しやすい環境情報の整備と発信
環境保全活動への参加促進と取り組みの支援

活動を紹介させていただいた団体・市民（敬称略）

エコINNくろせ

かっぱのおうち

西条市街地地区社会福祉協議会

西条・山と水の環境機構

NPO法人志和堀DNA.NET

志和堀ホテルまつり実行委員会

入野の環境を考える委員会

乃美エコクラブ

ひがしひろしま環境家族

住民自治組織ふれあいの里戸野

三谷信夫

活動の情報をお寄せください

みなさんの地域では、どのような活動が行われているでしょうか。地域の環境を守りはぐくむ活動や、活動のお話をしていただけの方の情報をお待ちしております。

連絡先

東広島市 生活環境部 環境対策課

〒739-8601

広島県東広島市西条栄町8番29号

TEL. 082-420-0928 FAX. 082-421-5601

E-mail: hgh200928@city.higashihiroshima.hiroshima.lg.jp

memo

東広島市の環境 みんなで楽しむ活動事例集

平成 26 年 3 月 1 4 日 発行

編集・発行 東広島市 生活環境部 環境対策課

<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/>

